

深沢紅子（1903-1993）は、上京して岡田三郎助のもとで油彩画を学び、一水会展、女流画家展などに作品を発表するかたわら、戦前から訪れていた軽井沢をこよなく愛し、1964年頃から20年ほど堀辰雄 1412 番山荘を夏のアトリエとして、軽井沢高原に咲く多くの野の花を水彩で描きました。

本展は、盛岡出身である紅子の作品を展示する美術館が、なぜ軽井沢に誕生したのか、深沢紅子と軽井沢の関係にあらためて光を当てます。

優しさと強さを兼ね備えた明治生まれの女流画家・深沢紅子が、堀辰雄夫妻や原道造ら軽井沢ゆかりの文学者と交流を重ねた人生と、夫・深沢省三（1899-1992）との軽井沢での暮らしを、野の花を描いた水彩・油彩作品約60点と紅子自身の言葉で紹介します。

「強いものより弱いもの、華やかなものより落ちついたもの、賑やかなものより静かなもの、私の選ぶもの、求めるものは、幼い頃から、心に染みだ、野の花の心、ひっそりと佇む野の花の姿以外の何ものでもなかったことを悟りました。／その想いが、争いごとをも忘れて、終生を貫けたことを幸せに思います。」（「深沢紅子自選画集」 実業之日本社刊 1986年発行 「野の花によせて」からの抜粋）

の、賑やかなものより静かなもの、私の選ぶもの、求めるものは、幼い頃から、心に染みだ、野の花の心、ひっそりと佇む野の花の姿以外の何ものでもなかったことを悟りました。／その想いが、争いごとをも忘れて、終生を貫けたことを幸せに思います。」（「深沢紅子自選画集」

実業之日本社刊 1986年発行 「野の花によせて」からの抜粋）



堀辰雄 1942年 軽井沢 1412 番山荘にて



原道造 1938年春「ニュー・トーキョウ」にて

深沢紅子（ふかざわ こうこ）

- 1903年 明治36年、岩手県盛岡市に生まれる。
- 1919年 盛岡高等女学校を卒業。12歳頃から池田龍甫に日本画を学び、女子美術学校（現在の女子美術大学）日本画科に入学。2年後。油絵科に転科し岡田三郎助門下生となる。
- 1923年 女子美術学校卒業。同郷の画家深沢省三と結婚。
- 1925年 第12回二科展に初出品。女性で唯一の入選となる。以後、1936年まで同展に出品。
- 1927年 岡田三郎助の紹介で、和田三造主宰の日本標準色協会創立に参加。
- 1937年 前年に結成された一水会の第1回展に出品。以後毎年出品
- 1938年 陸軍従軍画家として北京に渡る。
- 1941年 第5回一水会展にて一水会賞を受賞。
- 1947年 女流画家協会創立に参加、委員となる。
- 1949年 第2回岩手日報文化賞受賞。
- 1951年 岩手県立盛岡短期大学教授就任。
- 1955年 岩手県立盛岡短期大学を退職し上京。自由学園（東京）の講師となり、以後18年間指導をする。
- 1959年 「立てる少女」が文部省買い上げ、東京国立近代美術館に収蔵。
- 1964年 バリ近代美術館の国際女流美術展に出品。この頃から約20年間、軽井沢の旧堀辰雄別荘にて夏を過ごす。
- 1967年 第21回女流画家協会展日航賞受賞。
- 1980年 深沢紅子画業六十年展（岩手県民会館）
- 1982年 野の花のびょうぶ展（横浜高島屋）
- 1985年 深沢紅子展 親しいひとと優しいひとたち（日本橋高島屋）
- 1992年 深沢紅子野の花展（軽井沢高原文庫）
- 1993年 斎藤長三・深沢紅子展（練馬区立美術館）
3月25日、山中湖畔別荘にて永眠。享年90歳
- 1996年 7月、軽井沢に深沢紅子野の花美術館開館。9月、盛岡に深沢紅子野の花美術館開館。



軽井沢 1412 番山荘ベランダで絵を描く紅子 1983.8.26 撮影：大久保保

イベント

「野の花さんぽ 2022」

軽井沢の自然の豊かさと、軽井沢タリアセンに残された里山を発見する「野の花さんぽ」を開催します。自然観察指導員の案内で一緒に塩沢湖周辺を歩きながら、四季折々に咲く花や植物をさがします。

日時：7月16日（土）、9月17日（土）各13時～14時半

料金：大人1500円（小・中学生500円、未就学児無料）

※料金に軽井沢タリアセン入園と深沢紅子野の花美術館入館を含む。

定員：10名程度 ※小雨決行 ※要予約（前日15時まで）

講師：軽井沢サクラソウ会議・自然観察指導員

集合：軽井沢タリアセン中央ゲートに12時55分に集合

予約受付：TEL:0267-46-6161 FAX:0267-45-3663（軽井沢タリアセン）



次回展示

10月27日（木）～2023年1月15日（日）二十四節花～深沢紅子の絵とことば～

※展覧会およびイベントのスケジュールは、コロナウイルス感染防止のため、変更または中止する場合がございます。

深沢紅子野の花美術館

Kouko Fukazawa Nonohana Museum

〒389-0111 長野県北佐久郡軽井沢町長倉 217 明治四十四年館
Tel 0267-45-3662 Fax 0267-45-6466
http://www.karuzawataliesin.com

入館料：大人600円 小中学生300円

会期中無休 開館時間：9:00～17:00

上信越自動車道・碓氷軽井沢ICより車で約15分
しなの鉄道「中軽井沢駅」下車、タクシー約7分

JR北陸新幹線・しなの鉄道「軽井沢駅」下車、タクシー約10分または公共バス

<急行塩沢湖線>「軽井沢駅北口④番」→「塩沢湖」下車（420円）徒歩5分

<町内循環バス 東・南回り線>「軽井沢駅北口①番」→「塩沢湖」下車（100円）徒歩5分

